

人権教育だより

栃木県教育委員会事務局教育政策課人権教育室

児童生徒用学習教材『人権の窓』を活用した授業実践のご紹介

栃木県教育委員会では、小学生（上学年）、中学生、高校生を対象とした学習教材『人権の窓』を作成しています。今年（令和5年）度は、「男女平等」を学習テーマに、男女共同参画社会の大切さについて理解を図る内容となっています。デジタル教材として、また、アクティブラーニングの要素を盛り込んだ教材として、県内の学校において、様々な形で活用されています。

本稿では、その一部をご紹介します。ぜひ人権教育推進の際の参考としてください。

実践例1 栃木県立大田原高等学校

日時 6月9日（金）他

教科・科目等 公民科・公共（1学年・35名）

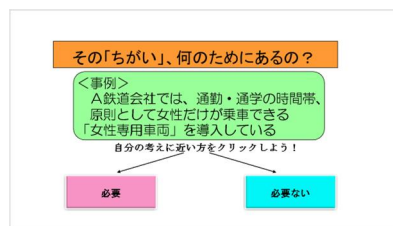
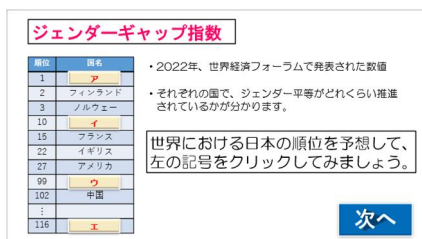
実施時間 3時間

教材 人権の窓（高校生用）、G7 栃木県日光こども未来サミットの宣言文*

*<https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/documents/20230602145815.pdf>

活用場面

1 時間目：ジェンダーギャップ指数等で日本の現状と課題を確認
「女性専用車両」「ポジティブアクション」などについてグループで話し合う



2 時間目：前時の学習内容と宣言文*をもとに、「大田原高校生宣言文」を作成する

3 時間目：グループごとに作成した「大田原高校生宣言文」を発表し、相互評価する



←発表の様子

活動の様子が下野新聞(R5. 7. 31)に掲載されました。

実践例2 栃木県立今市高等学校

日時 6月21日（火）13：30～14：20（5時限目）

教科・科目等 公民科・現代社会研究（3学年・24名）

実施時間 1時間

教材 人権の窓（高校生用）、G7にかかる資料等

活用場面 1時間


- ジェンダーギャップ指数等で日本の現状と課題を確認する
- 「女性専用車両」「ポジティブアクション」などについてグループで話し合う

その「ちがひ」、何のためにあるの？

<事例>
C社は、現在、女性管理職の割合が2割であるが、5年後の割合5割を目指して様々な取組を行っている。

自分の考えに近い方をクリックしよう！

必要 必要ない



- 左のスライドを全体に提示、説明した後、右の写真のように、グループでその必要性について「必要です」「必要ありません」のカードを使い話し合った。
- 高校生としてできること、日光市として政策に反映できることを考える。



←発表の様子

活動の様子がNHK（R5.6.21）・下野新聞（R5.6.22）に掲載等されました。

実践例3 小山市立美田中学校

日時 7月18日(火) 13:25~14:15 (5時限目)

教科・科目等 学級活動 (3学年2クラス・45名)

実施時間 1時間

教材 人権の窓 (中学生用)、G7にかかる資料等

活用場面 1時間

- ジェンダーギャップ指数について知り、男女格差の現状と課題について理解を深める。

ジェンダーギャップ指数

順位	国名
1	ア
2	フィンランド
3	ノルウェー
10	イ
15	フランス
22	イギリス
27	アメリカ
99	ウ
102	中国
...	
116	エ

・2022年、世界経済フォーラムで発表された数値
・それぞれの国で、ジェンダー平等がどれくらい推進されているかが分かります。

世界における日本の順位を予想して、左の記号をクリックしてみましょう。

次へ



- 補助資料人権に関する作文の『仕事』を教師の読み聞かせで視聴する。

これは男女が、互いに
その人権を尊重しつつ、
責任を分かち合い、



- 男女が協働する社会に向けてどんなことが大切か考え、グループで協議、発表する。



←発表の様子

活動の様子が下野新聞(R5. 7. 31)に掲載されました。

実践例4 栃木県立栃木女子高等学校

日時 11月9日（木）9：40～10：25（2時限目）

教科・科目等 公民科・公共（2学年・42名）

実施時間 1時間

教材 公共の教科書、資料集、人権の窓（高校生用）

活用場面 1時間

- 「法の下での平等」の内容で、社会における差別の問題（女性）を学習する場面で、ジェンダーギャップ指数等で日本の現状と課題を確認する。
- ・以下のスライドについて、ペアで話し合う。

ジェンダーギャップ指数

順位	国名
1	アイスランド
2	フィンランド
3	ノルウェー
10	イギリス
15	フランス
22	イタリア
27	アメリカ
99	韓国
102	中国
...	...
116	インド

・2022年、世界経済フォーラムで発表された数値
・それぞれの国で、ジェンダー平等がどれくらい推進されているかが分かります。

世界における日本の順位を予想して、左の記号をクリックしてみましょう。

次へ

その「ちがひ」、何のためにあるの？

<事例>
C社は、現在、女性管理職の割合が2割であるが、5年後の割合5割を目指して様々な取組を行っている。

自分の考えに近い方をクリックしよう！

必要 必要ない

- 性別に関係なく職業を選べるようにするためにはどのようなことが大切か考えたことを書いてまとめる。

【生徒の記入例（抜粋）】

- ・女性が不利になる部分をサポートする制度を整えることが大切。保育園を増やす、男性も育休がとれるようにするなど様々な取組が行われているが、リモートワークなどで解決できる仕事内容はリモートワークに切り替える企業を増やしていくことで、女性の不利さを減らすことができる。
- ・企業などで管理職に女性になった場合、産休や育休に入ったとしても戻ってこられるような制度やシステムをつくっておくべきだと思う。代理の人をつけておいたり秘書を増やしたり、管理職を始めから複数人選んでおいたりして、女性が管理職につくことができないという状況を変えていくべきだと思う。
- ・大学の学部を選ぶときに、工学や機械系の学部は、“男子”というイメージをもってしまいがちだと感じる。男女で差があるイメージをもつものは、そもそもあまり知らないまま切り捨てていることがあると思うので、学校や地域活動で触れる機会を設け、男女関係なく興味をもたせることが大切だと思う。

ペア学習の様子 →



実践例5 栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園

日時 12月1日(金) 9:00~9:50 (1時限目)

教科・科目等 職業科・LHR (1学年・8名)

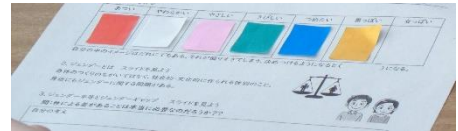
実施時間 1時間

教材 人権の窓 (小学生上学年用)、人権の窓 (中学生用)



活用場面 1時間

- 各自がもつ、「あつい」「やわらかい」…「男っぽい」「女っぽい」などのイメージについて、折り紙の様々な色に当てはめることを通して、自分の中にある偏りや固定観念に気づく。



- ジェンダーギャップ指数等で日本の現状と課題を確認する。(小学生上学年用)
※他の学校の実践例と同じスライドです。
- 「呼び方を変えると」から、職業上の男女差について学習する。(中学生用)

呼び方を変えると「トラックの運転手」

下の表現について「しっくりくる」か「しっくりこない」か考えよう!

トラック運転手のおじさん

しっくりくる

しっくりこない

呼び方を変えると「トラックの運転手」

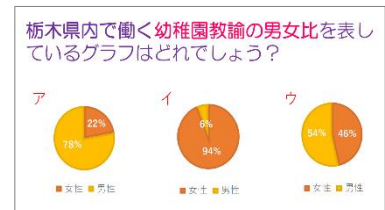
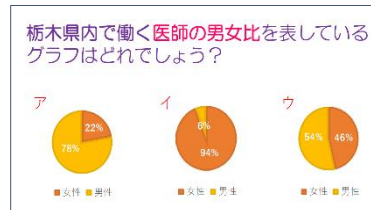
下の表現について「しっくりくる」か「しっくりこない」か考えよう!

トラック運転手のおばさん

しっくりくる

しっくりこない

- 「栃木県の職業別男女比」の円グラフを読み取り、栃木県内の職業における男女比の偏りを知る。(小学生上学年用)



- 社会人としてよりよく働き、自分らしく生きるためにはどのような社会を実現する必要があるか、各自で考え、発表する。
- 上記のような社会を実現するために、自分はどのように行動していくべきか、各自で考え、発表する。

※特別支援学校は、生徒の実情や各校の特色に応じて、各校種用の教材を適宜御活用ください。

実践例6 栃木県立黒磯高等学校

日時 12月21日(木) 14:25~15:15 (6時限目)

教科・科目等 公民科・公共(1学年・38名)

実施時間 1時間

教材 公共の教科書、人権の窓(高校生用)、ワークシート等

学習内容 選挙権・参政権等に関する学習

活用場面・展開

- 選挙等、女性の参政権獲得の歴史について振り返る。
- 戦後直後と現在の女性国会議員数を比較し、大きく増減の変化がないことを確認する。
- 「なぜ女性の社会進出(政治参加)が進まないのか」をグループで話し合い、クラス全体で共有する。
- ワークショップを通じ、女性の社会進出を阻む要因として、先入観や無意識の偏見があることに気づく。
(赤ちゃんをあやす声、会社の業績を説明する声、「パイロットになりたい」と夢を語る小学生の声、を男女どちらの性別でイメージするか動画を視聴しながら考える。)
- 「人権の窓」(高校生用)を個人のタブレットで確認しながら、付属のワークシートに取り組む。

